

市長と語る タウンミーティング
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年5月15日 午後7時～8時40分
会 場 亀久保分館
天 気 雨

参加者 18人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

- ◆昨年からタウンミーティング等に出席するようになって、行政の中身が解ってきた。自助・共助・公助も理解できるが、町会役員のやり手がない。順番で廻しているが、それ故になかなか思うように行かないところがある。市からももっと地域に出てきてもらいたい。地域でよく聞く声は、合併したメリットがまだ出てきていないこと。未だに二極化していることをクリアできないのが現実だ。合併特例債10年の期限があと3年半。なかなか市民には解りにくい。もっと解りやすい説明をして欲しい。
- ☆確かに合併後においてどちら側の地域に関しても良い話しを聞くことができない。それは、行政からの情報伝達が足りないことが原因と考える。きちっとした情報が伝わっていないためである。合併後はお互いの市町で持っていた計画の継続性という面から、市域全体で見たときに判断が難しい事業についても、やむを得ず継続実施してきた経緯がある。公共施設適正配置計画についても、私の就任前から出来上がっていたものであるが、その中身についても正しい情報が伝わっていない。
- ◆亀久保北町会でも自主防災組織が出来たが、特に大きなマンションや新しい住宅等では町会未加入者が多い。町会加入者は全体の6割にしかなっていない。未加入者の中には要援護者の方たちもいるが、マンションなどはセキュリティの関係で容易に中に入れにくい。要援護者救済も絵に描いた餅状態。この状況に関する行政の見解は。
- ☆重要な課題と認識している。若年層からは「町会加入のメリットは？」とよく聞かれるが、そんな中でも、マンションにお住まいの方たちからも自主組織を作ろうとする動きが見られる。今こそ、地域防災力強化の時である。行政からも転入者に対して、市民課の窓口などで町会・自治会加入への働きかけを積極的に行っていく。その他、広報や市の封筒にも加入促進に関するメッセージを掲載している。マンションに関しては、3.11の時にも水が出なくて困ったという経緯があるので、危機管理に対する意識は高まっているはず。今が加入促進の絶好のチャンスである。
- ◆是非、マンションへの働きかけをお願いしたい。

☆個人情報保護という壁があるが、条例等の見直しを図りながら整理し、行政として積極的に関わっていききたい。

◆いろいろなしがらみ等あって、町会を脱退する地域が出始めている。

☆それはどこの地域にも見られる傾向ではあるが、一步一步少しずつでも、皆で地域の絆を守っていこうというメッセージを発信していくことが大切であると考える。

◆高齢化が激しい地域からは、行事等に出られるかどうかの不安が先に立ち、脱退の意向があったりもするが、防災の観点からやはり加入継続する例も見られる。

☆加入継続をするにあたり、負担感を解消する方策についても模索してみたい。平時における負担感の解消も大切である。連合会全体の議論が必要な内容でもありそうなので、その場に市としても出席していく意向はある。少しでも地域力が高められればと思う。

◆雨水対策について、道路の雨水マス（側溝等）に落ち葉等大量のゴミがある。あの状態では雨水を吸わないのではないか。地域住民としては見える範囲で清掃等を行っているが、そのゴミを取り除いてもまだ問題がありそうだ。

☆どこの地域なのかお知らせいただければ対処したい。

◆さきほど全市的な防災訓練という話があったが、どこで行うのか。

☆各町会にご協力いただきながら、指定避難所に行くなどを考えている。

◆その費用は 29 万円とあるが、そんなもので足りるのか。防災グッズなどの配布は無いのか。

☆職員人件費についても振替対応し、極力経費を抑えて実のある訓練になるよう計画している。今年 3 月 11 日（日）に職員参集訓練を実施した。実際には平時の訓練だったので、9 割の職員が正午までに参集できたが有事にはそうはいかない。昨年 3 月 11 日、被災地ではない我がふじみ野市においても、さまざまな対処や情報収集の必要性から 2 晩に渡り大変な状況があった。本当にスピードを上げて地域力の強化に取り組みなければならないと痛切に感じた。何とか、皆さんのお力を借りながら地域全体の意識を高め、町会加入率を上げていきたい。想定外はいくらでも起こり得る。何とか対処するために行政では全力で取り組むが皆さんのお力添え無くしては難しいところがある。

◆この分館が有事には基地代わりになると考える。連絡機能はどうなっているのか。

☆分館は地区対策本部の役割を担っていただくため IP 無線電話を設置する予定。そこから、避難所や市の対策本部と連絡を取っていただく。

◆防災無線が大変聞き取りづらい。

☆デジタル化や完全統合はこの 3 年間で実施していくが、その間においても、スピーカーの向きや音量などの調整により聞き取り易くなる例もあると思うので、ご連絡いただければ対処したい。

◆公共施設適正配置計画の関係で、図書館は一つになってしまうのか。

☆現時点においてそのような決定はしていない。大井地域の図書館についても昭和56年以降の建物なので、耐震性については心配ない。

◆ふじみ野市は東西に長い地形なので、両地域に一つずつあっても良いのではないか。

☆現在、両地域にある老朽化している公共施設をどう維持管理していくのかという視点により、公共施設適正配置計画は作られているが、その経費を考えた時に、職員の人件費や夜間開館などサービス面の向上から民間業者に指定管理者として運営していただく方法も無くはないと考えられる。そのような手法により2つの図書館をそのまま維持配置していくことも可能である。しかし、この議論については慎重に時間をかけて進める必要があり、この段階での方針決定はまったくしていない。支所が無くなるとか図書館が無くなるとかの根拠の無い情報が飛び交っているのは承知しているが、本当に行政からの情報発信力の無さがすべての原因と考える。きちんとした情報提供に努めていきたい。しかし、税収は落ち込む一方であり、他の自治体では図書館の図書費が確保できずに指定管理者制度に移行している例が多々見受けられる。当市においてはまだその段階に至っていないが、いつそうなるかは時間の問題である。

◆市内循環バスについて、よく見かけるのは人があまり乗っていない状況。経路も解りづらいが経費はどの程度かかっているのか。

☆年間3000万程度。利用者は延べ2万数千人。賛否両論あるがあるべき姿を議論していく必要がある。

◆投票所について、だんだん遠くなっていく。高齢者にとっては大変困っている。

☆合併後においても衆議院・県議会議員選挙の選挙区が別れてしまっていることも大きな課題となっている。選挙管理委員会は行政委員会ではあるが、調べてみて後から情報をお知らせする。

◆大井のプール跡地について、テニスコートが出来ると聞いていたがどうなっているのか。

☆全体における土地の権利形態が大変複雑であり、民間、公社、市の所有という中、現在は民間所有の土地については返却をしたところである。今後、大井清掃センター跡地の活用については、皆さんの要望等踏まえながら議論していきたい。